

第66回日本交通医学会総会の開催にあたって

JR東京総合病院院長 鴨川 盛秀

第66回日本交通医学会総会の開催を当院が担当させていただくことを大変光栄に思っています。今回6月16日(土)、17日(日)の両日、当院講堂および看護学園教室で開催します。開催するにあたり、テーマ、コンセプト、主要企画を御紹介いたします。

昨年3月11日東日本大震災と、またそれに引き続く津波と福島第1原発事故により多くの方がお亡くなり、多くの方が被災され、今なお多くの方が避難生活を強いられておられます。今回は特に、この問題を本学会として大きく取り上げるのが責務だと思い、企画させていただきました。

その内容は特別講演4題、シンポジウム2題、宿題報告1題、ランチョンセミナー1題および一般演題128題としました。一般演題128題と大変多くの御応募を頂き、大変感謝申し上げます。

特別講演Ⅰは、大震災時の災害医療活動に御活躍された、国立病院機構災害医療センター救命救急科部長の小井戸雄一先生に「東日本大震災におけるDMATの活動」について講演をお願いいたしました。特別講演Ⅱは、いまなお福島第1原発事故後の放射線障害の議論が活発に行われている現状ですが、独立行政法人放射線医学総合研究所理事の明石真言先生に「放射線の人体への影響と福島原子力発電所事故」について講演をお願いしました。特別講演Ⅲは、今回の大震災での被害状況をつぶさに視察され、また首都直下型地震、東海地震、南海地震など取りざたされているなか、筑波大学システム情報系教授の境有紀先生に「東日本大震災の被害とこれから発生する大地震に対する対策」について講演をお願いしました。特別講演Ⅳは、大震災時に多くの編成で走行中だった、JR東日本管内の新幹線が一つの脱線事故もなく、人的被害もなく、無事に済んだことは、多くの国から賞賛の声が聞こえました。その技術の背景についてJR東日本設備部担当部長の嶋誠治さんに「JR東日本の安全輸送—そのとき新幹線は緊急停車した—」について講演をお願いしました。

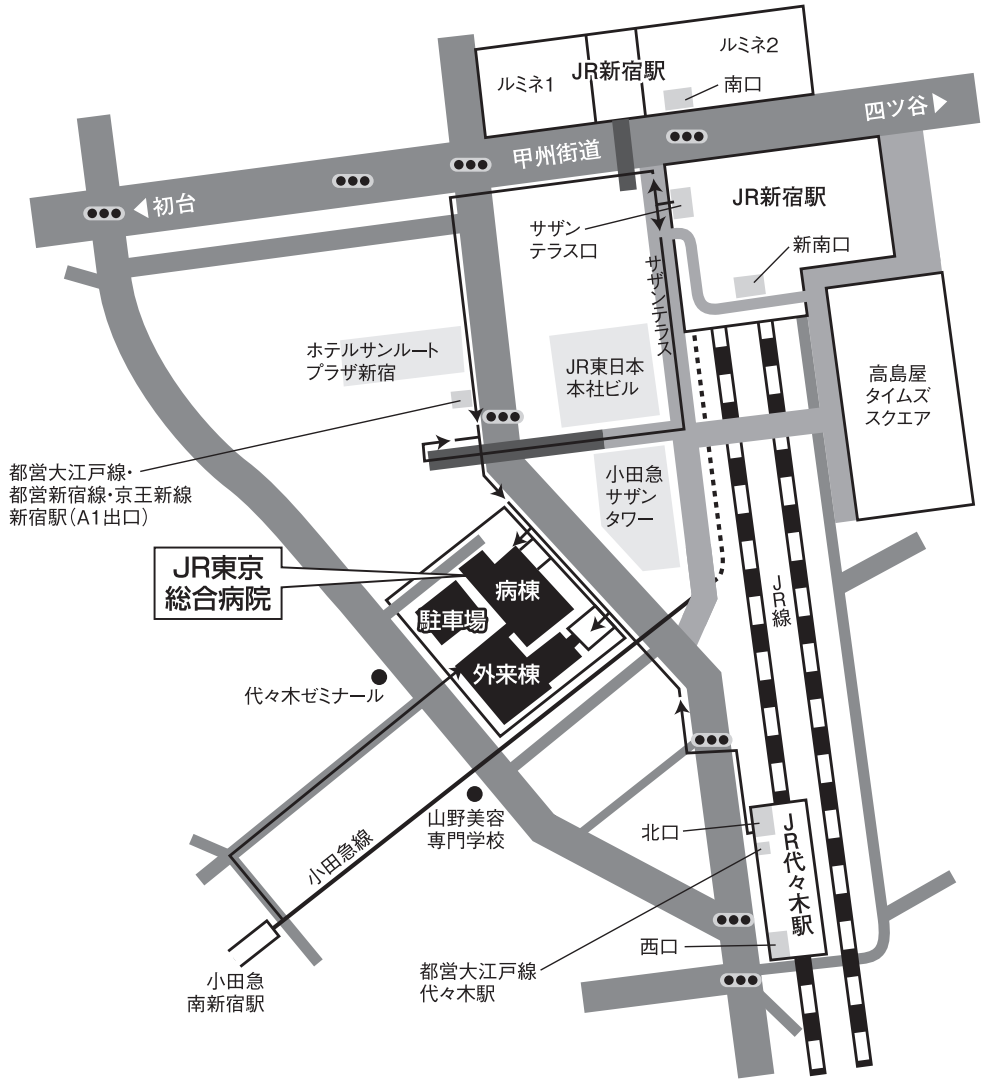
シンポジウムⅠは、テーマは「東日本大震災における産業保健活動」について企画しました。基調講演を東北大学環境・安全推進センター 東北大学大学院医学系研究科産業医学分野の色川俊也先生にお願いしました。その後産業医として活躍しておられる3人の先生方に報告していただきます。シンポジウムⅡは、テーマを「医療安全(感染を含む)に関する各施設の状況と取り組み」について企画しました。最近医療安全は病院の根幹とも言うべき存在で、病院機能評価でも高く取り上げられている問題です。基調講演を当院副院長の奥山伸彦先生にお願いしました。その後各施設からそれぞれ活動を報告してもらいます。

宿題報告は当院循環器内科担当部長の安喰恒輔先生に「頻脈性不整脈のカテーテルアブレーション」についてお話していただき、先生の得意とする最近の不整脈治療について報告してもらいます。ランチョンセミナーとして当院名誉院長の花岡一雄先生に「痛みとその緩和について」を御講演していただき、最新の痛みの治療や緩和治療についての知見をお話していただきます。

以上、今回は大震災の諸問題、福島原発の放射線障害、医療安全についてテーマとして主に取り上げましたが、まさに現在進行形の問題で皆様にいくらかでも有意義に役立っていただけたらと願っております。

本会が開催される6月中旬は梅雨と重なり天候が危ぶまれますが、東京スカイツリーもオープンし、大震災以来活況を取り戻した東京を散策され、楽しまれることを願っております。

JR東京総合病院 地図



会 告

第66回日本交通医学会総会における会員発表について次のとおりご案内いたします。

1. 口演時間 一般演題 発表6分, 討論1分以内
2. 演者集合 口演開始10分前に次演者席にお着きください。
3. スライド
 - (1) すべてPC発表とし, 1面映写とします。
 - (2) Windows PowerPointで作成したデータのみとします。お持込のデータはUSBメモリでお願いします。
 - (3) 会場に用意されるパソコンは, Windows PowerPoint 2010が内蔵されています。なお, 音声の再生はできません。
 - (4) データ受付は発表予定時間の30分前までにPC受付で必ず動作の確認を済ませてください。A会場前(講堂)の受付で確認が出来ます。17日(日)の早い時間に発表される方は, 16日中に受付することも可能です。
 - (5) 個人のPCでの受付及び発表はできません。
 - (6) Macintoshでのデータは受付できません。

※動画を使用される場合は, 必ず動画を作成するためのオリジナルデータを添付して下さい。動作に必要なデータが添付されていない場合やハイスペックPCで作成した動画データは動作保障が出来ませんのであらかじめご了承ください。

4. お知らせ

6月16日(土)第1日目のシンポジウムIで, 日本医師会認定産業医「生涯・専門」2単位の手続きをいたします。*受講には事前申込が必要です。

問い合わせ先: 第66回日本交通医学会 運営事務局(有) インターフェイス 内
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-13 ラフィネお茶の水1004

Tel: 03-3219-7020 Fax: 03-3219-7025 E-mail: info@interface.ddnn.jp

担当: 町田

5. 参加費: 6,000円 懇親会費: 4,000円

問合わせ先

第66回日本交通医学会総会事務局

JR東京総合病院副院長室(実行委員長: 山口哲生)

〒151-8528 東京都渋谷区代々木2-1-3

Tel: 03-3320-2200(代) Fax: 03-3370-7477 URL: <http://www.jreast.co.jp/hospital/>

第66回交通医学会総会ご案内

テーマ「震災からの復興」

● 2012年6月15日（金）

○理事会 （16：00～18：00）ホテルメトロポリタン丸の内 27階 TENQOO

● 第1日 2012年6月16日（土）

開会 9：00 鴨川 盛秀 会長挨拶

1. シンポジウムⅠ 地下1階講堂（9：05～11：30）

「東日本大震災における産業保健活動」

座長：JR東海健康管理センター 所長 遠田和彦

JR東日本健康推進センター 所長 湯口恭利

1) 基調講演（9：05～9：50）

「東日本大震災における産業保健活動とその課題」

東北大学環境・安全推進センター

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野 色川俊也

2) シンポジウム

① JR東日本における鉄道被害と産業保健活動

JR東日本健康推進センター 労働衛生科 医長（産業医） 神奈川芳行

② 同一企業内で被災した他事業所への産業支援

新日本製鐵（株）君津製鐵所 安全環境防災部 主任医長（産業医） 宮本俊明

③ 放射線リスクに取り組む — 産業医活動を通じて —

（株）熊谷組 管理本部 人事部（産業医） 清本芳史

3) 総合討論 パネルディスカッション

2. 宿題報告（11：30～12：00）

座長 安藤利昭（JR札幌病院）

「頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション」

JR東京総合病院 循環器内科担当部長 安喰恒輔

3. 評議員会・総会（12：00～12：30）

4. ランチョンセミナー（12：35～13：30） 座長 市來正隆（JR仙台病院）
「痛みの機構と治療への応用」
JR東京総合病院 名誉院長 花岡一雄
5. 特別講演Ⅰ（13：30～14：30） 座長 小野栄治（広島鉄道病院）
「東日本大震災におけるDMATの活動と課題」
国立病院機構災害医療センター 臨床研究部長 小井土雄一
6. 特別講演Ⅱ（14：30～15：30） 座長 中尾昭公（名古屋セントラル病院）
「放射線の人体への影響と福島原子力発電所事故」
独立行政法人放射線医学総合研究所 理事 明石真言
7. 特別講演Ⅲ（15：30～16：30） 座長 岸本三郎（大阪鉄道病院）
「東日本大震災の被害とこれから発生する大地震に対する対策」
筑波大学システム情報系 教授 境 有紀
8. 特別講演Ⅳ（16：30～17：30） 座長 林田一洋（JR九州病院）
「JR東日本の安全輸送 ―そのとき新幹線は緊急停止した―」
東日本旅客鉄道(株)設備部 担当部長 嶋 誠治
9. 会員懇親会（18：00～）JR東日本本社15階東雲（しのめ）

●第2日 2012年6月17日（日）

○平成24年度第1回交通医学誌編集委員会（8：30～9：00）

JR東京総合病院14階（一般講演会場内）討議室左・中（コネクティングルーム）

1. シンポジウムⅡ 地下1階講堂（9：30～12：00）

「医療安全（感染を含む）に関する各施設の状況と取り組み」

座長 JR東京総合病院 医療安全管理室長（循環器内科主任医長） 杉下和郎

座長 大阪鉄道病院 看護部長 岸本郁美

コメンテーター JR東京総合病院 看護部長 村山輝子

1) 基調講演

「医療の質と安全、今後の課題」

JR東京総合病院 副院長 奥山伸彦

2) シンポジウム

- ① 「多職種チームで取り組む転倒・転落防止対策」
－車椅子使用時の転倒事故から学んだ1事例－
JR札幌病院 副総看護長 井上香保里
- ② 「当院におけるリスクマネジメント」
JR仙台病院 外科部長 蔡 景襄
- ③ 「安全の取り組み及び活動内容・今後の課題」－医療安全室の取り組み－
JR東京総合病院 副看護部長 瀧波美代
- ④ 「医師インシデントレポート報告数はなぜ少ないか？」
－医師へのアンケートから判明した実情とその対策・結果－
名古屋セントラル病院 脳神経外科 種井隆文
- ⑤ 「転倒転落事故防止への取り組み」
大阪鉄道病院 看護師長 京極三望
- ⑥ 「広島鉄道病院における医療事故予防の取り組み」
広島鉄道病院 副看護部長 吉原万里
- ⑦ 「当院におけるインシデント報告システムの運用とその現状」
JR九州病院 リスクマネージャー 友村良江

2. 一般演題 14階看護学園 (9:00～)

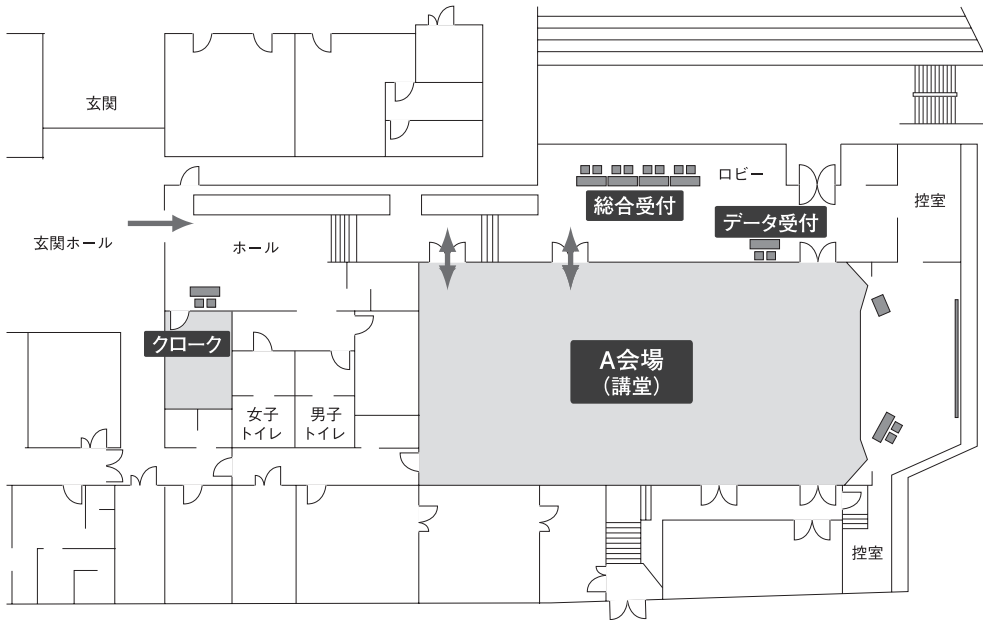
一般演題発表

B1F

第66回日本交通医学会総会

2012年6月16日(土)・17日(日)

JR 東京総合病院 講堂

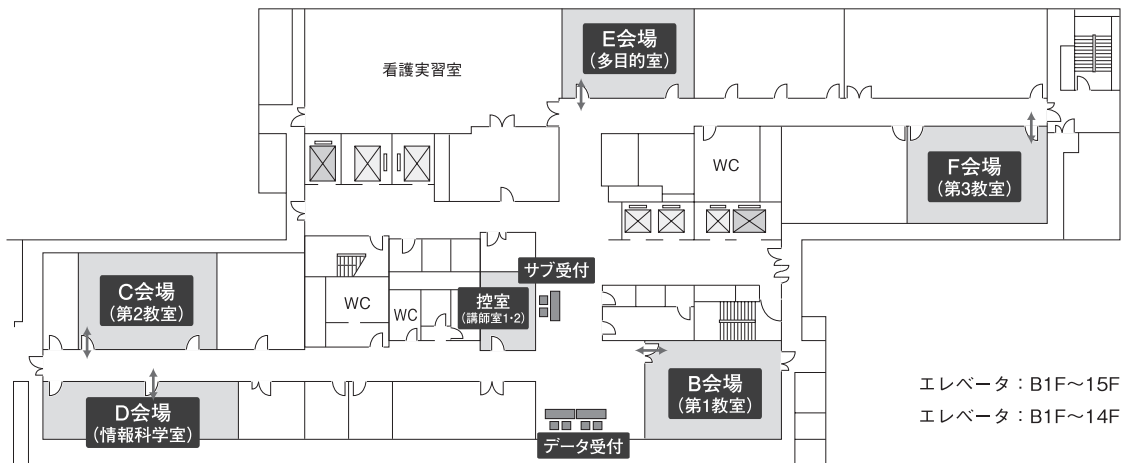


14F

第66回日本交通医学会総会

2012年6月17日(日)

JR 東京総合病院 高等看護学園



エレベータ：B1F～15F

エレベータ：B1F～14F

学会プログラム

第1日目 (2012年6月16日 土曜日)

JR 東京総合病院地下1階講堂 (A会場)

9:00	会長挨拶	鴨川盛秀
9:05	シンポジウム I 「東日本大震災における産業保健活動」 座長：JR 東海健康管理センター 所長 遠田 和彦 JR 東日本健康推進センター 所長 湯口 恭利 1) 基調講演 「東日本大震災における産業保健活動とその課題」 東北大学環境・安全推進センター 東北大学大学院医学系研究科産業医学分野 色川俊也 2) シンポジウム ① JR 東日本における鉄道被害と産業保健活動 JR 東日本健康推進センター 労働衛生科医長 (産業医) 神奈川芳行 ② 同一企業内で被災した他事業所への産業支援 新日本製鐵 (株) 君津製鐵所 安全環境防災部 主任医長 (産業医) 宮本俊明 ③ 放射線リスクに取り組む - 産業医活動を通じて - (株) 熊谷組 管理本部 人事部 (産業医) 清本芳史 3) 総合討論 パネルディスカッション	
11:30	宿題報告 「頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション」 座長 安藤利昭 (JR 札幌病院) JR 東京総合病院 循環器内科担当部長 安喰恒輔	
12:00	評議員会・総会	
12:35	ランチョンセミナー 「痛みの機構と治療への応用」 座長 市來正隆 (JR 仙台病院) JR 東京総合病院 名誉院長 花岡一雄	
13:30	特別講演 I 「東日本大震災における DMAT の活動と課題」 座長 小野栄治 (広島鉄道病院) 国立病院機構災害医療センター 臨床研究部長 小井土雄一	
14:30	特別講演 II 「放射線の人体への影響と福島原子力発電所事故」 座長 中尾昭公 (名古屋セントラル病院) 独立行政法人放射線医学総合研究所 理事 明石真言	
15:30	特別講演 III 「東日本大震災の被害とこれから発生する大地震に対する対策」 座長 岸本三郎 (大阪鉄道病院) 筑波大学システム情報系 教授 境 有紀	
16:30	特別講演 IV 「JR 東日本の安全輸送 - そのとき新幹線は緊急停止した -」 座長 林田一洋 (JR 九州病院) 東日本旅客鉄道 (株) 設備部 担当部長 嶋 誠治	
18:00	会員懇親会 JR 東日本本社15階 東雲 (しのめ)	

学会プログラム

第2日目 (2012年6月17日 日曜日)

JR 東京総合病院地下1階講堂 (A会場)

9:30	<p data-bbox="237 295 408 324">シンポジウムⅡ</p> <p data-bbox="271 334 937 363">「医療安全（感染を含む）に関する各施設の状況と取り組み」</p> <p data-bbox="381 372 1232 401">座長 JR 東京総合病院 医療安全管理室長（循環器内科主任医長） 杉下和郎</p> <p data-bbox="765 411 1232 440">座長 大阪鉄道病院 看護部長 岸本郁美</p> <p data-bbox="614 450 1232 479">コメンテーター JR 東京総合病院 看護部長 村山輝子</p> <p data-bbox="264 488 408 517">1) 基調講演</p> <p data-bbox="292 527 635 556">「医療の質と安全, 今後の課題」</p> <p data-bbox="834 566 1232 595">JR 東京総合病院 副院長 奥山伸彦</p> <p data-bbox="264 604 456 633">2) シンポジウム</p> <p data-bbox="285 643 841 672">① 「多職種チームで取り組む転倒・転落防止対策」</p> <p data-bbox="340 681 854 710">－ 車椅子使用時の転倒事故から学んだ1事例－</p> <p data-bbox="806 720 1232 749">JR 札幌病院 副総看護長 井上香保里</p> <p data-bbox="285 759 744 788">② 「当院におけるリスクマネージメント」</p> <p data-bbox="854 797 1232 826">JR 仙台病院 外科部長 蔡 景襄</p> <p data-bbox="285 836 1115 865">③ 「安全の取り組み及び活動内容・今後の課題」－医療安全室の取り組み－</p> <p data-bbox="786 875 1232 904">JR 東京総合病院 副看護部長 瀧波美代</p> <p data-bbox="285 913 909 942">④ 「医師インシデントレポート報告数はなぜ少ないか？」</p> <p data-bbox="340 952 991 981">－ 医師へのアンケートから判明した実情とその対策・結果－</p> <p data-bbox="717 991 1232 1020">名古屋セントラル病院 脳神経外科 種井隆文</p> <p data-bbox="285 1029 690 1058">⑤ 「転倒転落事故防止への取り組み」</p> <p data-bbox="841 1068 1232 1097">大阪鉄道病院 看護師長 京極三望</p> <p data-bbox="285 1107 854 1136">⑥ 「広島鉄道病院における医療事故予防の取り組み」</p> <p data-bbox="813 1145 1232 1174">広島鉄道病院 副看護部長 吉原万里</p> <p data-bbox="285 1184 978 1213">⑦ 「当院におけるインシデント報告システムの運用とその現状」</p> <p data-bbox="731 1222 1232 1251">JR 九州病院 リスクマネージャー 友村良江</p>
------	--